

結いの心

地域みんなで結ぶ大きな絆

令和7年2月号

木城町自治公民館連絡協議会

自治公民館活性化支援員 大津 新

備えあれば憂いなし

1月13日(月)日向灘を中心とする地震が発生しました。昨年8月8日の地震に比べ、木城町でも震度4と大きく揺れたので大変驚かれたことと思います。まさしく、

「災害は忘れた頃にやってくる」

また、昨年2月の通信(右)を振り返ってみると、「能登半島地震」についてお知らせしておりました。能登は、地震後の風水害・土砂災害で、依然として復旧できていない状況があります。**今、私たちが考えなければならないことは？** 今回の地震報道では、被害を伝えるものだけではなく非常時への備えについて書かれている記事が目にとまりました。



まずは、家具の転倒防止や備蓄品、避難場所、避難方法などの確認を家庭や個人でもう一度進めることが必要だと思います。また、**今までの災害を教訓として、被災時の公的な援助には限界があることを想定し、地域での防災・減災についても見直し、地域での協力体制＝「地域力」を高めていくことが重要**となってくると思います。

自治公民館活動を通して「地域力」を高めていきましょう！

新年度・四月に向けて

いよいよ令和6年度も残すところ3か月となりました。これから各自治公民館では、年度末・年度初めの総会や新年度計画など、4月に向けて準備が進むと思いますので、ご協力をお願いいたします。

<自治公民館連絡協議会での活動予定>

- 2月13日(木) 第4回自治公民館連絡協議会役員会
 - 令和6年度活動実績、決算予定
 - 令和7年度活動計画(案)、予算計画(案)
 - 第3回自治公民館長会計画 等
- 2月25日(火) 第3回自治公民館長会
 - 自治公民館運営補助金の手続きについて
 - 自主防災組織の設立に向けて(予定)
 - 次年度の自治公民館活動に向けて 等

新年を迎えて

新年を迎えて、地域での活動もスタートしました！

○1月1日(水): 元旦

湯屋ヶ坂自治公民館では、毎年恒例の「四方拝」が行われました。日の出前、地区の方々が公民館に集合し、新年の挨拶後、初日の出と同時に東西南北に向かって無病息災、家内安全、地域の安寧などを祈られました。他の地区での同様の取組が行われています。



○1月12日(日)

中之又地区では、中之又鎮守神社の神楽初めである「鈴乃口明ケ祭」が執り行われました。今年の中の又地区の安寧を願い、神楽の精進を目指した舞が奉納されました。



これらの他にも、各自治公民館で新年の行事が行われています。

テレビやネットによく見聞きする「SDGs」ってなあに？(1)

SDGsの17の目標について紹介します。



13 気候変動に具体的な対策を

気候変動は、あらゆる大陸のあらゆる国に影響を

与えています。気候変動は国家経済を混乱させ、生活に影響を与えることで、人々やコミュニティ、国々に莫大なコストを及ぼしています。**その影響は現在よりも将来において、さらに大きくなっていきます。**気象パターンは変化し、海面は上昇し、異常気象はますます激しくなり、温室効果ガスの排出量は現在、史上最高水準に達しています。**対策を取らなければ、世界の平均気温は21世紀全体を通じて上昇し続け、その上昇幅は今世紀中に摂氏3度に達する公算が高くなっています。最も大きな影響を受けているのは、最貧層と最も脆弱な立場にある人々です。**

よりクリーンでレジリエント(強靱)な経済へと一気に歩を進められる手ごろで普及可能な解決策は、すでに利用できるようになっています。**再生可能エネルギーを利用したり、排出量を削減し、適応への取り組みに資するその他幅広い措置を採用したりする人々が増える中で、変革のペースも速まっています。**しかし、**気候変動は国境に関係のないグローバルな課題**です。**気候変動は、国際レベルでの調整を要する解決策と、開発途上国の低炭素経済への移行を支援するための国際協力をともに必要とする問題**なのです。

気候変動の脅威へのグローバルな対応を強化するため、各国はパリで開かれた国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)でパリ協定を採択しましたが、この協定は2016年11月に発効しています。すべての国はパリ協定で、地球の気温上昇を摂氏2度未満に抑えるよう努めることで合意しました。2018年4月現在、175の締約国がパリ協定を批准していますが、気候変動対策のための第1回国内適応計画を提出した開発途上国も10カ国に上ります。

